

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公表番号】特表2001-502349(P2001-502349A)

【公表日】平成13年2月20日(2001.2.20)

【出願番号】特願平10-519116

【国際特許分類第7版】

A 6 1 K 49/00

【F I】

A 6 1 K 49/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月7日(2004.9.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成16年9月7日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成10年特許願第519116号

2. 補正をする者

住所 ノルウェー国、エン-0485 オスロ、ニコベイエン 2

名称 アメルシャム ヘルス アクスイエ セルスカブ

3. 代理人

住所 東京都千代田区麹町一丁目10番地(麹町広洋ビル)

電話 (3261)2022

氏名 (9173) 高木 千嘉



(外1名)

4. 補正命令の日付(自発)

5. 補正対象書類名

請求の範囲

6. 補正対象項目名

請求の範囲

7. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. i) ガスをその中に分散させて有する注入可能な水性の媒体と、
ii) インビボでこの分散させたガス中に、少なくとも一時的にそのサイズを増大するように拡散することができる、拡散可能成分からなる組成物
とを含有する、超音波造影における造影剤として、同時にか、別々にかまたは順次に用いるための組合せ製剤。
2. 分散させたガスが、空気、窒素、酸素、二酸化炭素、水素、不活性ガス、フッ素化硫黄、六フッ化セレン、場合によってハロゲン化されたシラン、低分子量炭化水素、ケトン、エステル、ハロゲン化低分子量炭化水素、または上記したものの中のいずれかの混合物からなる、請求項1に記載の組合せ製剤。
3. ガスがペルフルオロ化ケトン、ペルフルオロ化エーテルまたはペルフルオロカーボンからなる請求項2に記載の組合せ製剤。
4. ペルフルオロカーボンがペルフルオロアルカン、ペルフルオロアルケンまたはペルフルオロシクロアルカンからなる、請求項3に記載の組合せ製剤。
5. ガスが六フッ化硫黄またはペルフルオロプロパン、ペルフルオロブタンもしくはペルフルオロペンタンからなる、請求項2に記載の組合せ製剤。
6. 分散させたガスが、合体化抵抗性の表面薄膜、フィルム形成性タンパク質、ポリマー物質、非重合体のおよび非重合性の壁形成性物質または表面活性剤によって安定化された、請求項1～5のいずれかに記載の組合せ製剤。
7. 表面活性剤が少なくとも一つのフォスホリピドを含有する、請求項6に記載された組合せ製剤。
8. 表面活性剤物質の少なくとも75%が個別的に正味の総体電荷を保持するフォスホリピド分子からなる、請求項7に記載された組合せ製剤。

9. フィルム形成性表面活性剤物質の少なくとも75%が、フォスファチジルセリン、フォスファチジルグリセロール、フォスファチジルイノシトール、フォスファチジン酸およびカルジオリピンから選ばれる一つまたはそれ以上のフォスホリピドからなる、請求項8に記載された組合せ製剤。
10. フォスホリピドの少なくとも80%がフォスファチジルセリンからなる、請求項9に記載の組合せ製剤。
11. 拡散可能成分からなる組成物が経皮投与用に、皮下投与用に、筋肉内投与用に、静脈投与用に、または吸入投与用に製剤されたものである、請求項1～10のいずれかに記載された組合せ製剤。
12. 拡散可能成分からなる組成物がさらに担持液体を含有する、請求項1～10のいずれかに記載された組合せ製剤。
13. 拡散可能の成分が水中油型乳濁液またはミクロ乳濁液の形態の水性担持液体に分散されたものである、請求項12に記載された組合せ製剤。
14. 拡散可能の成分が脂肪族エーテル、ポリサイクリック油、ポリサイクリックアルコール、複素環式化合物、脂肪族炭化水素、シクロ脂肪族炭化水素、またはハロゲン化低分子量炭化水素からなる、請求項13に記載された組合せ製剤。
15. 拡散可能成分がペルフルオロカーボンからなる、請求項14に記載された組合せ製剤。
16. ペルフルオロカーボンがペルフルオロアルカン、ペルフルオロアルケン、ペルフルオロシクロアルカン、ペルフルオロシクロアルケン、またはペルフルオロ化したアルコールからなる、請求項15に記載された組合せ製剤。
17. 拡散可能成分がペルフルオロペンタン、ペルフルオロヘキサンまたはペルフルオロジメチルシクロブタンからなる、請求項16に記載された組合せ製剤。
18. 乳濁液がフォスホリピド表面活性剤で安定化されたものである、請求項

13～17のいずれかに記載された組合せ製剤。

19. フォスホリピド表面活性剤の少なくとも75%が個別的に正味の総体電荷を保持する分子を含有する、請求項18に記載された組合せ製剤。
20. フォスホリピド表面活性剤の少なくとも75%がフォスファチジルセリン、フォスファチジルグリセロール、フォスファチジルイノシトール、フォスファチジン酸およびカルジオリピンから選ばれる、請求項19に記載された組合せ製剤。
21. フォスホリピド表面活性剤の少なくとも80%がフォスファチジルセリンからなるものである、請求項20に記載された組合せ製剤。
22. さらに治療剤が含まれる、請求項1～21のいずれかに記載された組合せ製剤。
23. さらに超音波以外の造影様式のためのコントラスト増強成分が含まれる請求項1～21のいずれかに記載された組合せ製剤。